

気持ちをあらたに

前期終業式・後期始業式



前期の振り返りや後期のめあてについて、4人の代表児童が堂々と伝えました。前期の振り返りをしっかりと、それを基に後期のめあてを立てていました。

校長先生からは、学習を具体的に振り返り、「いつまでに」「どんなことを」できるようにになりたいかを考えておくことが大切だということと、挨拶がもっと増えるといいという話がありました。

前期終業式 児童の言葉より～抜粋～

ぼくは、二年生になって一年生のころよりもとちとなかよくできるようになりました。ぼくが見つけたなかよくできるほうほうは二つあります。

一つ目はあそびにさそうことです。中休みにこおりおににさそっていっしょにあそんだら、なかよくなりました。

二つ目は手伝ってあげることです。とちとちがこまっていたときに声をかけたら「ありがとう。」と言われて、なかよくなりました。

こうきもとちとちとなかよくなるほうほうを見つけて、もっともとちとちをふやして、たくさんあそびたいです。

私が前期に一番がんばったことは算数の司会です。算数の答えは一つですが、その答えにたどり着く方法はいくつもあって、みんなでそれを考えていくのは楽しそうだと思います。最初は授業の進め方が分からなかったけれど、友達の様子を見て、自分の司会のやり方を考えることもできました。

私ははじめてのことをするとき、上手くできるか不安になりますが、一生懸命にやると意外に楽しかったり、やってよかったと思ったりすることが多くあります。これからも何でも一生懸命に取り組んで、いろいろなことにチャレンジしてみたいと思います。

後期始業式 児童の言葉より～抜粋～

わたしが前きにがんばったことは、先生の話をしずかに聞くことです。先生の顔を見て話を聞くようにしました。先生の話をしずかに聞いていると、道具の使い方が分かったり、ノートの書き方が分かったりして、よいことがありました。これからも、しずかにしゅうちゅうして話を聞くことができるようにがんばります。

書写の習字もがんばりたいです。習字はこうひとつちがうので、その時その時によってきれいに書ける時と、書けない時があつてたいへんむずかしいです。たくさん練習をして、上手に書けるようにしたいです。

私は前期に委員会活動がんばりました。委員会活動では、5年生を引っ張っていけるように、自分から積極的に声をかけたり、分からないことがないかを聞いたりしました。

後期は、5年生だけでなく、1～4年生も引っ張っていけるようにしたいです。そのために、クラブ活動では4年生に積極的に声をかけたり、たてわり活動では下級生に進んであいさつをしたりしたいです。

最高学年として、みんなのお手本になれるようにすこし、卒業するときには「あんな6年生になりたいな」と思ってもらえるようにがんばります。

児童支援専任より

先日、運動会が無事に終わりました。大きな行事を終えると、疲れが出たり気がゆるんだりして、トラブルが多くなることがあります。白幡小学校では、いじめ等のトラブルが発生したとき、担任だけでなく、学年・児童支援専任・管理職で発生した事案をどのように指導し、同様なトラブルを未然に防ぐにはどうしたらよいかをチームとして話し合っています。ケースによっては、専門機関を活用し、子どもたちが安心して過ごせるように考えています。

10月は、サーチ委員会の児童が中心となり、挨拶の取組が行われました。委員会の児童が、白幡小学校を挨拶であふれる学校にしたいという思いから、スタートした運動です。朝や帰りなどの様子を見てみると、元気がよく挨拶をする子、会釈をする子、黙って通り過ぎる子など、いろいろな子がいます。元気がなくて心配になることもあります。人と人の出会いも、挨拶で始まります。気持ちのよい挨拶をすることは、相手を大切にすることや良好な関係を築くことにもつながります。そして、相手の気持ちを推し量ったり、譲歩したりして、お互いが気持ちよく過ごすことにもつながると思います。子どもたちが、気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いによって、毎日を気持ちよく過ごせることが実感できるよう、声をかけていきます。ご家庭でも、お子さんとの挨拶を大切にしていきたいと思ひます。

